



交流会/甲山中と梅園小 (もちつき会)



交流会/矢北小と矢東小 (なかよくなるう会)

かいはつ

22号

岡崎市特殊教育
推進協議会

平成2年3月7日発行

(題字 大門小 5年)



自立と親

福岡中学校長

松崎 稔

健康診断のため診察室で待っていた時のこと、看護婦の呼名で、大きな体つきの大学生と母親らしい二人が、カーテンの仕切りをくぐって医者の前へ進んだ。特に耳をそば立てたわけではないが、医者と母親との間にこんな会話が交された。

母親「この子は、この頃、体がだるいし熟睡もできないようだし食事も好き嫌いが多く、時々微熱も出します。」

医者「大学生なら、一人で病院へ来られるでしょう。そうすることが病気を治す大事なことなのです。自分の体のことは自分が一番よく分かっているのだから。」

母親「実は、家を出る時から、この子は、一人で病院へ行くと言いましたが、口へたな子で言葉たらずなので十分お薬がいただけないと思って私もまいりました。」

この会話を聞いていて、ちよつと不審に思った。それは、「この子」というのがある。我が子であることに間違いないし、また、我が子の健康を気遣う親心も有り難いと思う。しかし、母親が我が子の青年期であること、独立した人格を尊重して対応することへの配慮に欠けている。

子供の成長をより一層願う者の一人として記述した。

学級紹介

お茶の会

大樹寺小学校

野村美渙

「F子ちゃん、元気ががんばって下さい。」と、開口一番、

「ぼく、司会する。」

と、A男、先日のいもまつりで初めてお別れ会、お茶のひまわりである。

「ぼくは、お茶の(会の)ご主人」と言るのはE男、この間と同じ役ではなく違う役をしようと話す。

「F子ちゃん、元気ががんばって下さい。」と、開口一番、と、A男、先日のいもまつりで初めてお別れ会、お茶のひまわりである。カ、フを並べるF子、紅茶を入れるC男、ケーキはこの日のために何年か一度だけ豪華におくる。F子と四か年一緒に学習したE男が、先生と共に店へ行き、



教師のつぶやき
福岡小 伊藤千賀子
初めてスポントライトをあびて練習したとき、子どもたちは、ほんやりとライトのみをみつめ、こちらの怒声も気にならず、セリフを忘れてつつ立っていました。こんなんで、本番は大丈夫かしら?ただでさえ、覚えにくいセリフなのに。本番もいつものより一週間も早い。それに、六



作品展 1

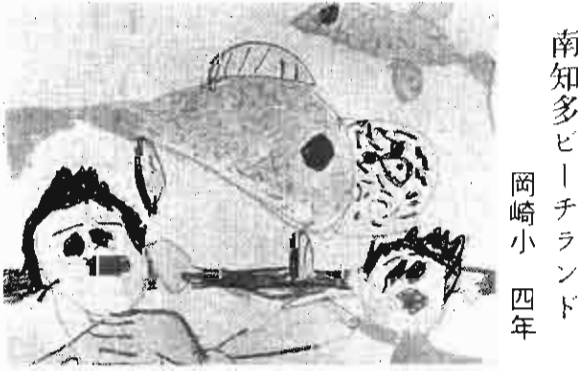
楽しかった まめまき大会

福岡中 三年

二月三日土曜日、みんながまめまき大会をやりました。職員室へ行ってまめをまきました。K君が、おにのお面をかぶってやりました。みんな、

「おにほ、外、福は、内」といいました。そして、教室にまもって豆をまきました。その時、みんなて買いに行っ

年生が音楽の練習でぬけるし、心配の種はつきなかつたが、日を追ううちに、



南知多ビーチャンド
岡崎小 四年
たおかしをとりました。みんな目かくしをして床をはいまわってとりました。思ったよりたくさんとれました。目かくしをしてやったのですごくおもしろかったです。床に落ちているまめもひろって食べました。お面も自分たちで作ったものです。おかしは、高嶽先生がなげてくださいました。私は、自分で買ったおかしもとれたし、先生が買ってきたおかしもとれました。K君が買ったおかしもとれました。

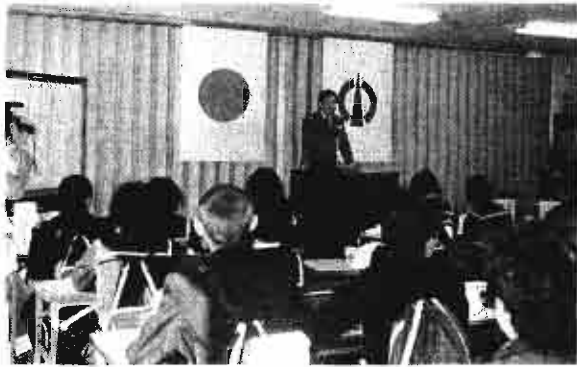
進路指導委員会

事業所見学会

中学校特殊学級進路指導委員会による事業所見学会が二月十二日に行われた。昨年度は工場見学だけであったが、今回は午前中に工場見学、午後は講演会という形式に改めた。見学先と講演者を岡崎公共職業安定所の統括指導官の白田恭子氏にご紹介していただき、

会の内容を充実させることができ、紙面を借りて感謝の意を表したい。

工場見学は市内十三中学校を三



ブロックに分け、各コースで工場をひとつ見学することになった。保母町の大和化成・仁木町のマルサンアイ・大平町の日本高分子の三社に協力していただいた。生徒たちは、機械化された清潔な工場や働く人々を直接見ることで、「就職」とか「労働」についてみんなと話し合う機会を得た。

午後の講演会は、愛知障害者センターの本田健吾氏・職安の職業相談員の三井徳康氏を講師に招いて、勤労文化センターで行われた。テーマは「社会参加のために必要な事柄」「就職後の問題点」である。体験談をまじえたすばらしいお話をしていただき、父兄にも大変好評であった。

見学会後の父兄アンケートの中に「特殊学級出身者が働くところを見たい」「自分の子どもが進路を決める参考にはならなかった」という声があった。次回からの見学会の課題を示していると、受けとめている。

学級スナップ

先生、見て見て！

井田小

「先生、これいい？」

子どもたちは、ドーナツの生地をこねながら話しかけてきます。「おっ、できたか。どれどれ。」とのぞきこんだ皿の上は実にハラエテイに富んでいます。えらく太いのやら、今にもちぎれてしまいうるやいなもの、リングの形をしていないものもあります。なかなか思いどおりの形にはなりません。子どもたちにとってはもう宝物みたいですよ。特に、いよいよ自分で作ったものを揚げる時の真剣な表情といたらありません。



作品展 2

修学旅行

福岡小 六年

百九十円使いました。

修学行に行きました。JR名古屋から京都まで新幹線に乗りまし

平安神宮行きました。

た。京都から奈良までバスでした。

三十三間どう行きました。

法隆寺行きました。

清水寺行きました。

東大寺行きました。大仏様見ま

映画村行きました。きものの人

した。しかにさつまいものせんべ

がいました。刀をさしています。

いやりました。

ぼくを切ろうとします。写真をと

二月どう見ました。

りました。きょうりゅうは、こわ

三月どう見ました。

いです。

春日大社見ました。

こだまは四時四十五分に出発し

ホテル行きました。ごはん食べ

ました。JR名古屋は六時十分

ました。おふろ入りました。

乗りました。JR岡崎は七時一分

新築ごく行きました。おみやげ

につきました。車で帰りました。

買いました。

丁夫君は三千

百円使いました。

K男君は三千

二百円使いまし

た。

蜂須賀先生は

三千四百円使い

ました。

ぼくは三千四



ともだち 岩津中3年

市教育論文 最優秀賞 緑丘小特殊教育部

緑丘小では、京が峰を舞台にした活動を進めています。かれこれ八年になるこの活動を同校特殊教育部の先生方が、「自然」の中で教育をめざして、「京が峰に登ろう」の実践としてまとめられ、今年度の市教育論文最優秀賞に入賞されました。

『山登りをしよう』

—京が峰日記より—

京が峰の頂上に、みどり学級の遊園地をつくった。

一週間かけてつくった遊園地は、すばらしい出来ばえであった。一人ひとりが、大きな仕事を成し遂げたことに満足しながら、ジャンボブランコや忍者コースをやっていた。子供たちは、おのおの人間性をまるだしにして遊んでいる。教室では見られない一面をむきだしにして、夢中で遊ぶ姿を見ると、子供の人間形成にとって、遊びがいかに大切であるか痛感した。

こうした子供の活動を知ったY男の母親が、嬉しい知らせを担任に寄せてきた。



いきなりY男が、「あした山へ行こう」と言うのです。何のこともよく分かりませんが、よく聞いて見ると、京が峰の頂上にくたらの遊園地をつくったから、見に行こうというのです。あくる日、私と主人と三人で、子供に引かれて京が峰へ出かけました。山道を歩きながら、みんなであつ

た遊園地のことを、矢継ぎ早に話してくれました。Y男が、こんなに楽しくしゃべってくれたことは初めてです。私は子供にリードされながらやつと頂上に着きました。そして、しばらくロープやネットで遊んで、昼過ぎに家に帰ってきました。この日、Y男の喜びようは大変なものでした。

Y男の場合、自然の中に解放することで、教室では見られないような生き生きとした表情が生まれてきたのである。Y男は心を大きく開き、こんなにも積極的な動きを見せたのであろう。

「京が峰へ登ろう」を合言葉に私たちは、まだまだ鋭い目で子供を見つめ、実践していきたいと思う。

卒業したら

東海中 三年

ぼくは、東海中を卒業したら、春日台の訓練校へ行きます。訓練校のとうじき科で、ちゃわんやゆのみやいろいろのやきものを作る勉強をします。また、きまりよい生活ができるような訓練をします。

家に帰るのは、一年に二回だけです。夏のおぼんとお正月だけなので少しさびしいと思います。けれども、みんなも同じですから早く友だちを作って楽しく生活したいと思えます。もう二人ぐらい友だちができました。

訓練校では、先生たちのいうことをしっかり守って、病気をしないように気をつけて、がんばります。一年たつて社会に出たら、訓練校で勉強したことを思い出して仕事をしっかりやりたいと思います。

おともだち

ありがとう

竜美丘小 六年

もうすぐ中学一年生です。たのしかった小学校ともさよならならで

卒業おめでとう

なかよくあそんだともだちもおおかわれです。ほうかになるときもおおぜいのおともだちがあそびにきてくれました。六の二のSさん、Mさんは、いつもしんせつにしてくれました。

わたしは、みんなとちがう中学校へ一人だけいので、とてもさみしいです。でも、みんなが、

「中学校へいっても、がんばってね。」といってくるので、はやく、みんなとな

かよくなり、がんばります。おともだちのみなさん、ほんとうにありがとうございました。

